

CASBEE®-建築(既存)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(既存)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_EB_2014(v.3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 仙台本町三井ビルディング | 階数 | 地上18F 地下1F |
| 建設地 | 宮城県仙台市 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | - 人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | - 時間/年 |
| 建物用途 | 事務所,ホテル, | 評価の段階 | |
| 竣工年 | 2009年6月 竣工 | 評価の実施日 | 2024年1月10日 |
| 敷地面積 | 1,858 m ² | 作成者 | 日建設計総合研究所 |
| 建築面積 | 1,114 m ² | 確認日 | 2024年1月10日 |
| 延床面積 | 13,041 m ² | 確認者 | 日建設計総合研究所 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 91% (167 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 91% (167 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 91% (167 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項 | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合 ・宮城県仙台市に建設された複合型のビルである。 『洗練された街のシンボルを築く』をデザインイメージとしており、縦外付ルーバー・縦リブなどの上昇感ある繊細かつ軽快なファサードデザインや合理的な配置計画に配慮した計画としている。 | その他 - |
| Q1 室内環境 ・自然換気口の設置により室内換気に配慮した計画としている。 | Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・非常用発電設備の設置等、災害時の設備機器の機能維持を図り建物の信頼性の向上に配慮している。 |
| LR1 エネルギー ・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 | LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材や再利用可能なユニット部材の採用等により非再生性資源の使用量削減に配慮している。 |
| | Q3 室外環境(敷地内) ・外構への積極的な緑化により生物環境の創出に配慮した計画としている。 |
| | LR3 敷地外環境 ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される